安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:Latex ink LX101 Cyan
品番	:LX101-C-60
Ink Ver.	:1
会社名	:株式会社ミマキエンジニアリング
住所	:長野県東御市滋野乙2182-3
担当部門	:技術本部
メールアドレス	:ink@mimaki.jp
電話番号	:0268-64-2413
FAX番号	:0268-64-5580
緊急時の電話番号	:0268-64-2281
(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合)	:公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番 ＊一般市民専用電話 (大阪)072-727-2499 365日 24時間対応 (つくば)029-852-9999 365日 9～21時対応 ＊医療機関専用電話 (大阪)072-726-9923 365日 24時間対応 (つくば)029-851-9999 365日 9～21時対応
推奨用途及び使用上の制限	:水系顔料インク、インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

〔GHS分類〕

物理化学的危険性

区分外、分類できない、または分類対象外

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性	:区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分2A
生殖毒性	:区分2

(注)上記で記載が無いものは、区分外、または分類できない

環境に対する有害性

区分外、または分類できない

〔GHSラベル要素〕

絵表示

注意喚起語

警告

危険有害性情報

H316 軽度の皮膚刺激

安全データシート(SDS)

H319 強い眼刺激
H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書
[安全対策]
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P264 取扱後は手をよく洗うこと。
P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
[応急措置]
P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断、手当てを受けること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
[廃棄]
P501 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

〔その他の危険有害性〕
・軽度の皮膚刺激
・重篤な眼への刺激
・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
・飲み込むと有害のおそれ

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分 :混合物
成分及び含有量

成分名	含有量〔%〕	官報整理番号	CAS No.	備考
ｸﾞﾘｺｰﾙｴｰﾃﾙ系溶剤	10～30	非開示	非開示	
ｱﾙｺｰﾙ系溶剤	20～40	非開示	非開示	
ﾌﾀﾛｼｱﾆﾝﾌﾞﾙｰ	1～5	非開示	147-14-8	労働安全衛生法 第57条の2(通知対象物質)
有機成分	1～5	非開示	非開示	
N-ﾒﾁﾙｼﾞｴﾀﾉｰﾙｱﾐﾝ	0.1～1.5	非開示	105-59-9	
水	残余	非開示	7732-18-5	

4. 応急措置

吸入した場合
・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で安静にする。呼吸が不規則、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。
・蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

安全データシート(SDS)

皮膚に付着した場合
・付着物を布にて素早く拭き取る。汚染された衣類を速やかに脱ぐ。
・大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
目に入った場合
・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄すること。
・出来るだけ早く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合
・誤って飲み込んだ場合には、水でよく口内を洗浄し、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
・嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置

消火剤
・粉末消火薬剤、炭酸ガス消火剤、水溶性液体用泡消火薬剤、乾燥砂、霧状水
特有の消火方法、消火を行う者の保護
・適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。
・可燃性のものを周囲から、速く取り除くこと。
・指定された消火剤を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
環境に対する注意事項
・河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材
・漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。
・火花が発生しないように、プラスチック製などの用具を用いて回収する。
・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
・換気の良い場所で取り扱う。
・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
・工具は火花防止型のものを使用する。
・密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
保管

安全データシート(SDS)

・日光の直射を避ける
・通風の良いところに保管する。
・火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

〔設備対策〕
・取扱い設備は防爆型を使用する。
・排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
・取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
・屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。

〔保護具〕
呼吸器の保護具
・有機ガス用防毒マスクを着用する。密閉された場所では送気マスクを着用する。
手の保護具
・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
目の保護具
・保護メガネまたは保護面を着用する。
皮膚及び身体の保護
・取り扱う場合には、皮膚を直接曝露されないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

性状(状態、色)	:シアン色液体(20℃)
臭い	:わずかな溶剤臭
pH	:9.8±0.5
沸点(初留点及び沸騰範囲)	:データなし
引火点	:なし
発火点	:データなし
燃焼又は爆発範囲の上限下限	:データなし
蒸気圧	:データなし
比重(密度)	:1.02±0.01(20℃)
その他	:特に情報を有していない

10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性)
・標準条件では危険な反応はしない。
避けるべき条件
・特に情報を有していない。
混触危険物質
・特に情報を有していない。
危険有害な分解生成物
・燃焼などによりCO、低分子モノマーなどの有害ガスが発生する。

安全データシート(SDS)

その他の危険性情報
・特に情報を有していない。

11. 有害性情報

〔急性毒性〕

成分名	経口 (rat)	経皮 (rabbit)
ｸﾞﾘｺｰﾙｴｰﾃﾙ系溶剤	LD50 4920 mg/kg 区分5	LD50 3560 uL/kg 区分5

〔皮膚腐食性/刺激性〕

ｸﾞﾘｺｰﾙｴｰﾃﾙ系溶剤	:区分3

〔眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性〕

ｸﾞﾘｺｰﾙｴｰﾃﾙ系溶剤	:区分2A
N-ﾒﾁﾙｼﾞｴﾀﾉｰﾙｱﾐﾝ	:区分2B

〔生殖毒性〕

N-ﾒﾁﾙｼﾞｴﾀﾉｰﾙｱﾐﾝ	:区分2

〔その他の有害性情報〕
製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

〔水生環境有害性(急性)〕

N-ﾒﾁﾙｼﾞｴﾀﾉｰﾙｱﾐﾝ	:区分3

〔水生環境有害性(慢性)〕

N-ﾒﾁﾙｼﾞｴﾀﾉｰﾙｱﾐﾝ	:区分3

一般注意事項
・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
生態毒性
・混合物としてのデータがない
残留性・分解性
・混合物としてのデータがない
生態蓄積性
・混合物としてのデータがない
土壌中の移動性
・混合物としてのデータがない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
・廃インク、容器等の廃棄物は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
・容器、機器装置を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び

安全データシート(SDS)

関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
・廃インク等を焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉(地方自治体の規制に合致すること)で少量ずつ焼却する。
・廃棄物等を焼却処理する場合には、有害ガスを発生するため、洗浄装置のない焼却炉を使用しないこと。

汚染容器及び包装
・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

14. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国連番号 (UN No.)	:非該当

〔国内規制〕

陸上規制情報	:消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上規制情報	:船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空規制情報	:航空法の定めるところに従うこと。

〔国際規制〕

海上規制情報	:IMO/IMDG の規定に従うこと。
航空規制情報	:ICAO/IATA の規定に従うこと。

15. 適用法令

消防法	:非該当
毒物および劇物取締法	:非該当
労働安全衛生法	:名称等を通知すべき有害物・・・銅及びその化合物
	:名称等を表示すべき有害物・・・非該当
有機溶剤中毒予防規則	:非該当
危険物	:非該当
PRTR法	:非該当

16. その他の情報

参考文献
日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
オーム社:溶剤ポケットブック
危険物防災救急便覧
国際化学物質安全カード(ICSC)

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。

安全データシート(SDS)

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。